

[兵庫県立大学国際商経学部長]

1 氏 名 こみや かずたか
小 宮 一 高

2 生年月日 昭和 48 年 12 月 20 日 (51 歳)

3 略 歴

平成 8 年 3 月 神戸商科大学商経学部国際商学科卒業
平成 10 年 3 月 神戸大学大学院経営学研究科博士課程前期課程修了
平成 13 年 3 月 神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程単位修得退学
平成 13 年 4 月 香川大学経済学部専任講師
平成 14 年 5 月 香川大学経済学部助教授 (平成 19 年 4 月より准教授)
平成 20 年 9 月 神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了
平成 26 年 2 月 香川大学経済学部教授
平成 30 年 4 月 兵庫県立大学経営学部教授 (平成 31 年 4 月より国際商経学部教授)
令和 5 年 4 月 兵庫県立大学総合教育機構副機構長 (令和 6 年 4 月より高等教育推進機構高等教養教育部副部長)

[現在に至る]

4 受賞歴 特になし

5 学 位 平成 20 年 9 月 博士 (商学) (神戸大学)

6 専 攻 経営学 (マーケティング論、流通・商業論)

7 研究業績

論 文

- (1) Binh, N. and Komiya, K., "Consumer Attitudes toward Cause-related Products: A Study of Japanese Customers and Beneficiary-Made Items" International Journal of Business and Society 24(1) pp.254-271, 2023.
- (2) Inoguchi, J., Komiya, K., Kim W. and Urakami, T. "Strategies within Japanese Apparel Manufacturers" The Research Journal of Costume Culture, 20(3), pp. 433-450, 2012.
- (3) 小宮一高「商業集積の組織特性の再検討 -商業集積マーケティング論の構築に向けて-」『流通研究』、12(4)、pp.31-44、2010 年。
- (4) Urakami, T., Komiya, K. and Inoguchi, J., "Self-planning functions within the Japanese apparel wholesale industry", Journal of Fashion Marketing and Management, 13(3), pp. 311-324, 2009.

外 22 件

[兵庫県立大学社会情報科学部長]

1 氏 名 ふじえ てつや
藤 江 哲 也

2 生年月日 昭和44年9月7日（55歳）

3 略 歴

平成 4 年	3 月	東京理科大学工学部第一部経営工学科卒業
平成 6 年	3 月	東京理科大学大学院工学研究科修士課程経営工学専攻修了
平成10年	3 月	東京工業大学大学院情報理工学研究科数理・計算科学専攻 博士後期課程修了
平成10年	4 月	神戸商科大学商経学部管理科学科助手
平成16年	4 月	兵庫県立大学経営学部助教授
平成19年	4 月	兵庫県立大学経営学部准教授
平成22年	4 月	兵庫県立大学大学院経営研究科教授
平成31年	4 月	兵庫県立大学社会情報科学部教授
平成31年	4 月	兵庫県立大学社会情報科学部副学部長（令和3年3月まで）
令和 3 年	4 月	兵庫県立大学大学院情報科学研究科教授（社会情報科学部兼務）
令和 5 年	4 月	兵庫県立大学社会情報科学部長
令和 6 年	4 月	兵庫県立大学大学院情報科学研究科副研究科長

[現在に至る]

4 受賞歴 なし

5 学 位 平成10年3月 博士（理学）（東京工業大学）

6 専 攻 数理最適化

7 研究業績

著 書

(1) 応用数理計画ハンドブック（共著、2004年、14.3節(pp.830-886)を担当）

論 文

- (1) Minmax Regret 1-Sink Location Problems on Dynamic Flow Path Networks with Parametric Weights（共著、2024年）
- (2) Methods for Home Visit Routing Problem: An Extension of Traveling Salesman Problem with Time Windows（共著、2024年）
- (3) Semidefinite Programming to Maximize the Spectral Gap Produced by Node Removal（共著、2013年）

外 28 件

[兵庫県立大学環境人間学部長、大学院環境人間学研究科長]

1 氏 名 よしむら みき
吉 村 美 紀

2 生年月日 昭和37年7月3日(62歳)

3 略 歴

昭和61年 3月 日本女子大学家政学部食物学科卒業
平成 3年 3月 日本女子大学大学院家政学研究科食物栄養学専攻修士課程修了
平成 3年 4月 姫路短期大学食物栄養学科助手(平成9年3月まで)
平成 9年 4月 姫路短期大学食物栄養学科講師(平成11年3月まで)
平成10年 4月 姫路工業大学環境人間学部講師(平成14年3月まで)
平成11年 3月 大阪市立大学大学院生活科学研究科攻博士後期課程修了
平成14年 4月 姫路工業大学環境人間学部助教授(平成19年3月まで)
平成16年 4月 兵庫県立大学環境人間学部助教授(平成19年3月まで)
平成19年 4月 兵庫県立大学環境人間学部准教授(平成22年3月まで)
平成22年 4月 兵庫県立大学環境人間学部教授(大学院研究科)
平成29年 4月 兵庫県立大学環境人間学部学術情報館長(平成31年3月まで)
平成31年 4月 兵庫県立大学環境人間学部学生部長(令和3年3月まで)
令和 3年 4月 兵庫県立大学環境人間学部副学部長(令和5年3月まで)
令和 5年 4月 兵庫県立大学環境人間学部学部長(令和7年3月まで)

[現在に至る]

4 受賞歴 平成28年10月 日本栄養士会会長表彰 受賞
令和 3年 5月 兵庫県知事表彰(栄養士養成功労者) 受賞
令和 3年 9月 一般社団法人日本調理科学会 学会賞 受賞
令和 3年 12月 兵庫県知事表彰(教育功労者) 受賞
令和 5年 9月 厚生労働大臣表彰(栄養士養成功労者) 受賞

5 学 位 平成11年 3月 博士(学術)(大阪市立大学)

6 専 攻 食品物性学、食品プロセス科学

7 研究業績

著 書

- (1)「食品コロイド・ゲルの構造・物性とおいしさの科学」(共著)(NTS)(2024)
(2)「食品物性とテクスチャー」(共著)(建帛社)(2022) 他 31件

論 文

- (1) Physical Properties, Palatability, and Mastication of Breads with Different Compositions of Soy Protein Isolate and Soybean Soluble Polysaccharide, *International Journal of Gastronomy and Food Science*, IJGFC(10961) (2024)
(2) Physical Properties and Palatability of Cookies with Different Composition of Wheat Flour, Rice Flower, and Soy Protein Isolate, *Journal of Home Economics of Japan*, 73(9), 551-560 (2022) 他 95件

[兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科長]

1 氏 名 み の のぶゆき
美 濃 伸 之

2 生年月日 昭和43年3月5日(57歳)

3 略 歴

平成 3年 3月 神戸大学農学部農芸化学科卒
平成 3年 4月 農林水産省・農業環境技術研究所 研究員
平成11年 3月 筑波大学大学院農学研究科農林工学専攻博士課程修了
平成13年 4月 姫路工業大学・自然・環境科学研究所 講師
平成15年10月 姫路工業大学・自然・環境科学研究所 助教授
平成16年 4月 兵庫県立大学・自然・環境科学研究所 准(助)教授
平成20年 4月 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科 教授
(景観マネジメント部門・ランドスケーププランニング研究室)
兵庫県立淡路景観園芸学校 主任景観園芸専門員
平成29年 4月 兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科長
(平成31年3月まで)

4 受賞歴 日本写真測量学会 奨励賞：日本写真測量学会(1997.5)

5 学位 1999年3月 博士(農学)(筑波大学)

6 専攻 ランドスケープ科学

7 研究業績

著 書

- (1) 緑地環境のユニバーサルデザイン「成熟型ランドスケープの創出」
ソフトサイエンス社, 東京 2009年(分担執筆)

外12件

論 文

- (1) 萬代悠太・美濃伸之・嶽山洋志(2021)熱中症指数の分布と公園利用実態の関連分析による国営明石海峡公園における熱中症リスク区分図の作成 ランドスケープ研究 増刊 技術報告集 84(11) 38-41.
(2) 美濃伸之・嶽山洋志(2022)公園緑地に携わる実務者を対象としてユニバーサルデザイン教育を実施する場合の留意点 ランドスケープ研究 85(5) 445-450.
(3) 美濃伸之(2023)ユニバーサルデザインの歴史的経緯と公園緑地 公園緑地 83(5) 26-29
(4) 美濃伸之(2024)公園緑地におけるインクルーシブのあり方と今後の展望 公園緑地 85(2) 18-21
(5) 美濃伸之・浅田増美(2024)国営ひたち海浜公園において移動制限のある公園利用者が享受している人的支援の実態 ランドスケープ研究(オンライン論文集) 17 32-37

外65件

[兵庫県立大学地域資源マネジメント研究科長]

1 氏 名 なかい あつし
中 井 淳 史

2 生年月日 昭和46年11月14日（53歳）

3 略 歴

平成 6 年 3 月 京都大学文学部史学科卒業
平成 8 年 3 月 京都大学大学院文学研究科考古学専攻修士課程修了
平成11年 3 月 京都大学大学院文学研究科歴史文化学専攻博士後期課程単位取得
平成11年 4 月 大阪外国語大学留学生日本語教育センター非常勤講師
平成13年 4 月 日本学術振興会特別研究員PD
平成17年 4 月 大手前大学史学研究所ポスト・ドクター研究員
平成19年 4 月 大手前大学史学研究所研究員
平成26年 4 月 兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科教授〔現在に至る〕

4 受賞歴 特になし

5 学 位 平成17年11月 博士（文学）（京都大学）

6 専 攻 歴史考古学

7 研究業績

著 書

- (1) 日本中世土師器の研究（単著）中央公論美術出版(2011)
- (2) 中世かわらけ物語（単著）吉川弘文館(2022)
- (3) 新版 概説 中世の土器・陶磁器（共編著）真陽社(2022)

外23件

論 文

- (1) 価値多様性の創出と保全：ソシオ資源を活かすために(2014)
- (2) 好古・弄古・尚古と好古：さまざまな「古」へのまなざしー集古会と近代アカデミズムにみる(2022)
- (3) 饗宴の食事と食器ー15・16世紀の事例からー(2023)

外39件

[兵庫県立大学ソーシャルデータサイエンス研究所長]

1 氏 名 きむら しん
木 村 真

2 生年月日 昭和 50 年 11 月 7 日 (49 歳)

3 略 歴

平成 12 年 3 月 大阪大学経済学部経営学科卒業
平成 14 年 3 月 大阪大学大学院経済学研究科博士前期課程経済理論専攻修了
平成 17 年 7 月 大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程経済学専攻
単位取得退学
平成 17 年 7 月 北海道大学創成科学共同研究機構博士研究員
平成 20 年 4 月 北海道大学大学院公共政策学連携研究部特任助教
平成 23 年 4 月 兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科准教授
平成 31 年 4 月 兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科教授
同大学社会情報科学部教授 (兼務)
令和 3 年 4 月 兵庫県立大学大学院情報科学研究科教授
同大学院応用情報科学研究科長 (兼務) (令和 5 年 3 月まで)
同大学院シミュレーション学研究科長 (兼務) (令和 5 年 3 月まで)
〔現在に至る〕

4 受賞歴 第 3 回「税に関する論文」専門家の部 優秀賞, 2007 年 11 月
第 6 回大来政策研究賞〈地域における政策研究〉部門, 2005 年 11 月.

5 学 位 平成 20 年 1 月 博士 (経済学) (大阪大学)

6 専 攻 経済学 (財政学、公共経済学、社会保障論)

7 研究業績

論 文

- (1) Wang, RuoPeng, and Shin Kimura. "Rethinking the role of government in education: Private education tuition waivers and public education." *Economic Modelling* 135 (2024): 106666.
- (2) Kimura, Shin, Tomoki Kitamura, and Kunio Nakashima. "Investment risk-taking and benefit adequacy under automatic balancing mechanism in the Japanese public pension system." *Humanities and Social Sciences Communications* 10.1 (2023): 1-19.
- (3) 木村 真, 「人口高齢化による医療介護需要の増加と産業構造への影響」, 『経済分析』, No. 202 (202), 101-124, 2021.
- (4) 木村 真, 「マクロ経済スライドの現状と課題 (発動と終了の条件)」, 『社会保障研究』, 4(4), 470-486, 2020.